

平成29年度事業計画書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

公益社団法人 顔と心と体研究会

1. 事業活動の概要

年100回以上のメイクボランティア訪問、及びメイクボランティア講習会・メイク講座の開催により、メイクを通じた社会貢献活動の拡大を目指すとともに、訪問先施設の協力を得て、メイクの効果に関する調査研究を行い、化粧の効果を科学的に実証することを試みる。研究成果をホームページ等で発表し、化粧の社会的地位の向上を目指す。

新規事業として、外観に問題を抱える患者や高齢者に対してメイク手法の講習を行い、それを通じて社会参加・社会復帰を支援する「化粧療法士」の資格認証事業を立上げる。各等級の「化粧療法士」が備える技術・知識のレベルを認定・保証し、「化粧療法士」の社会的な地位・信用の確立を目指す。

2. 事業活動の内容

(1) メイクボランティア訪問・メイクボランティア講習会・メイク講座

(ア) メイクボランティア訪問

年100回以上のメイクボランティア訪問を実施する。既存の提携施設のみならず、新規の施設の開拓に注力する。

(イ) メイクボランティア講習会

メイクボランティアの養成、員数の拡大、及び正会員の増加を目指して、東京、大阪及び地方都市1ヶ所で年4回開催する。

(ウ) メイク講座

- 更正保護法人「両全会」でのメイク講座
「両全会」に入居する自立を目指す女性に対して、就職支援を目的としたセルフメイク講座を実施する。
平成29年4月19日、7月19日、10月18日、平成30年1月17日を予定
- 東京理科大学公開講座「シニア向け脳活メイク講座」
シニア向けにセルフメイクのレッスンをを行い、高齢者の活性化に貢献する。
平成29年6月3日、17日
- その他、行政機関・教育機関の依頼に応じて適宜開催する。

(2) 調査研究活動

(ア) 化粧によるストレス軽減効果に関する長期的観察

肢体不自由児を持つ母親に対する化粧の効果について、平成28年3月まで、グループ毎に1年間にわたる観察を行い、その成果について、平成28年10月開催のシンポジウムで発表した。今後も、身体障がい・知的障がい等を持つ母親への化粧の効果について、機会を捉えて調査し、データを集積していく。

(イ) 「社会的支援を必要とする高齢者へのメイクアップを用いた高齢者・支援者双方のQOL向上の試み」

(文化学園大学 応用健康心理学研究室 精神保健学 佐藤浩信教授との共同研究)
メイクの高齢者への効果を数値データで測ることを試みる一方、高齢者にメイクを

提供したボランティアについて、生きがい感、自尊感情、ストレス認知などの変化をアンケートなど、複数のデータ収集方法により調査する。
平成 29 年 3 月にデータ収集を終了する予定。その後もデータ収集を続ける方向で合意。高齢者に関しては『緑の郷』以外の施設でのデータ収集も検討中。

(3) 普及啓発活動・情報誌等発行事業

(ア) シンポジウムの開催

化粧が与える効果を広く一般人に対して普及啓発するために、「顔と心と体」のつながりをテーマとして公開講座を開催する。平成 29 年度は、アクサダイレクトとの共催により、『交通事故後の心のケア』(仮)をテーマにシンポジウムを行う。9 月 23 日(仮)開催予定。

(イ) 会報誌の発行・ホームページの更新

当法人の活動状況について周知させるため、会報誌を年 4 回発行し、会員及び医療機関・高齢者施設・公共機関等に配布する。

ホームページの更新を最低月 1 回、月間アクセス 1,000 (現在約 600) を目指す。

(4) 化粧療法士資格認証事業

「化粧療法士」とは、外観に問題を抱える患者に対してメイクを通じて患者の満足できる外観を提供し、患者の QOL を改善するとともに、患者の精神面のケアを行い、外観上問題のない部位も含めた外観に関する目標を患者とともに設定し、その目標を達成するためのメイク技術を患者に習得させ、患者の社会復帰・社会参加を支援しようとする者である。

「化粧療法士」資格認証制度は、試験によって、各級の「化粧療法士」の技術と能力を検証し、認定するものである。

「化粧療法士」に必要な卓越したメイク技術、関連医療に関する基礎的な知識、メンタルケアとカウンセリングの知識と能力について、平成 28 年度中に、必要な履修科目の設定、各科目を担当する講師陣の決定、各講師による科目毎の達成目標、合否基準、教材等の決定、試験問題の作成等を行う。公益目的事業の内容変更に関して公益認定等委員会による承認が得られ次第、化粧療法士資格認証制度について広報・宣伝等により周知を図り、受験者の募集を行う。

平成 29 年度は、制度前認証試験、「化粧療法士」4 級試験、3 級試験、2 級試験を実施する予定。

(5) その他

(ア) 理事会

以下の理事会の開催を予定する。

平成 29 年 3 月 9 日 事業計画・予算承認

5 月 18 日 事業報告・決算承認、社員総会招集

11 月 活動状況報告

また、必要に応じ、適宜理事会を開催する予定。

(イ) 社員総会

平成 29 年 6 月中旬 事業報告・決算承認のために開催予定

(ウ) 規約規程

「社員総会規程」「会計規程」等を制定予定

(エ) 活動財源

メイクボランティア等の事業収益、会費、寄附金等を充当する予定

以 上

平成29年度 収支予算書

平成29年 4月 1日から平成30年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	平成29年度予算合計	当年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受 取 会 費	1,357,000	2,040,000	-683,000
正 会 員 受 取 会 費	1,272,000	1,800,000	-528,000
賛 助 会 員 受 取 会 費	85,000	240,000	-155,000
事 業 収 益	1,820,000	900,000	920,000
公 開 講 座・シ ン ポ ジ ウ ム 事 業 収 益	0	200,000	-200,000
メ イ ク ボ ラ ン テ ィ ア 事 業 収 益	700,000	500,000	200,000
メ イ ク 講 座 事 業 収 益	200,000	200,000	0
検 定 事 業 収 益	920,000		920,000
受 取 寄 付 金	18,513,500	14,700,000	3,813,500
受 取 寄 付 金	18,513,500	14,700,000	3,813,500
雑 収 利 益	0	1,000	-1,000
受 取 利 息	0	1,000	-1,000
雑 収 益	0	0	0
経常収益計	21,690,500	17,641,000	4,049,500
(2) 経常費用			
事 業 費	16,886,000	11,941,000	4,945,000
給 料 手 当 費	10,000,000	6,300,000	3,700,000
福 利 厚 生 費	500,000	650,000	-150,000
会 議 費	95,000	200,000	-105,000
旅 費 交 通 費	440,000	590,000	-150,000
通 信 運 搬 費	500,000	740,000	-240,000
消 耗 品 費	300,000	1,000,000	-700,000
印 刷 製 本 費	450,000	800,000	-350,000
賃 借 料 金 費	176,000	300,000	-124,000
諸 委 託 金 費	2,570,000	600,000	1,970,000
支 払 手 数 料	1,120,000	500,000	620,000
渉 外 費	5,000	11,000	-6,000
新 聞 図 書 費	20,000	200,000	-180,000
雑 費	10,000	0	10,000
管 理 費	700,000	50,000	650,000
給 料 手 当 費	4,804,500	5,634,500	-830,000
福 利 厚 生 費	1,250,000	1,200,000	50,000
会 議 費	100,000	100,000	0
旅 費 交 通 費	110,000	100,000	10,000
通 信 運 搬 費	200,000	60,000	140,000
減 価 償 却 費	150,000	300,000	-150,000
消 耗 品 費	94,500	94,500	0
印 刷 製 本 費	250,000	240,000	10,000
光 熱 水 料 費	60,000	30,000	30,000
賃 借 料	180,000	150,000	30,000
租 税 公 課	1,200,000	1,200,000	0
委 託 費	5,000	0	5,000
支 払 手 数 料	1,200,000	1,500,000	-300,000
雑 費	5,000	620,000	-615,000
経常費用計	0	40,000	-40,000
評価損益等調整前当期経常増減額	21,690,500	17,575,500	4,115,000
評価損益等計	0	65,500	-65,500
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	0	65,500	-65,500
法人税、住民税及び事業税	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	65,500	-65,500
一般正味財産期首残高	2,143,852	1,361,224	782,628
一般正味財産期末残高	2,143,852	1,426,724	717,128
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	2,143,852	1,426,724	717,128

資金調達及び設備投資の見込みについて

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

公益社団法人 顔と心と体研究会

1. 資金調達

活動の経費は、会費、寄付金、メイクボランティア事業の収益等により賄う予定（平成 29 年度収支予算書（案）参照）。

当期中における借入れの予定はない。

2. 設備投資

当期中における有形無形の固定資産等への重要な設備投資（除却又は売却を含む。）はない。

以 上